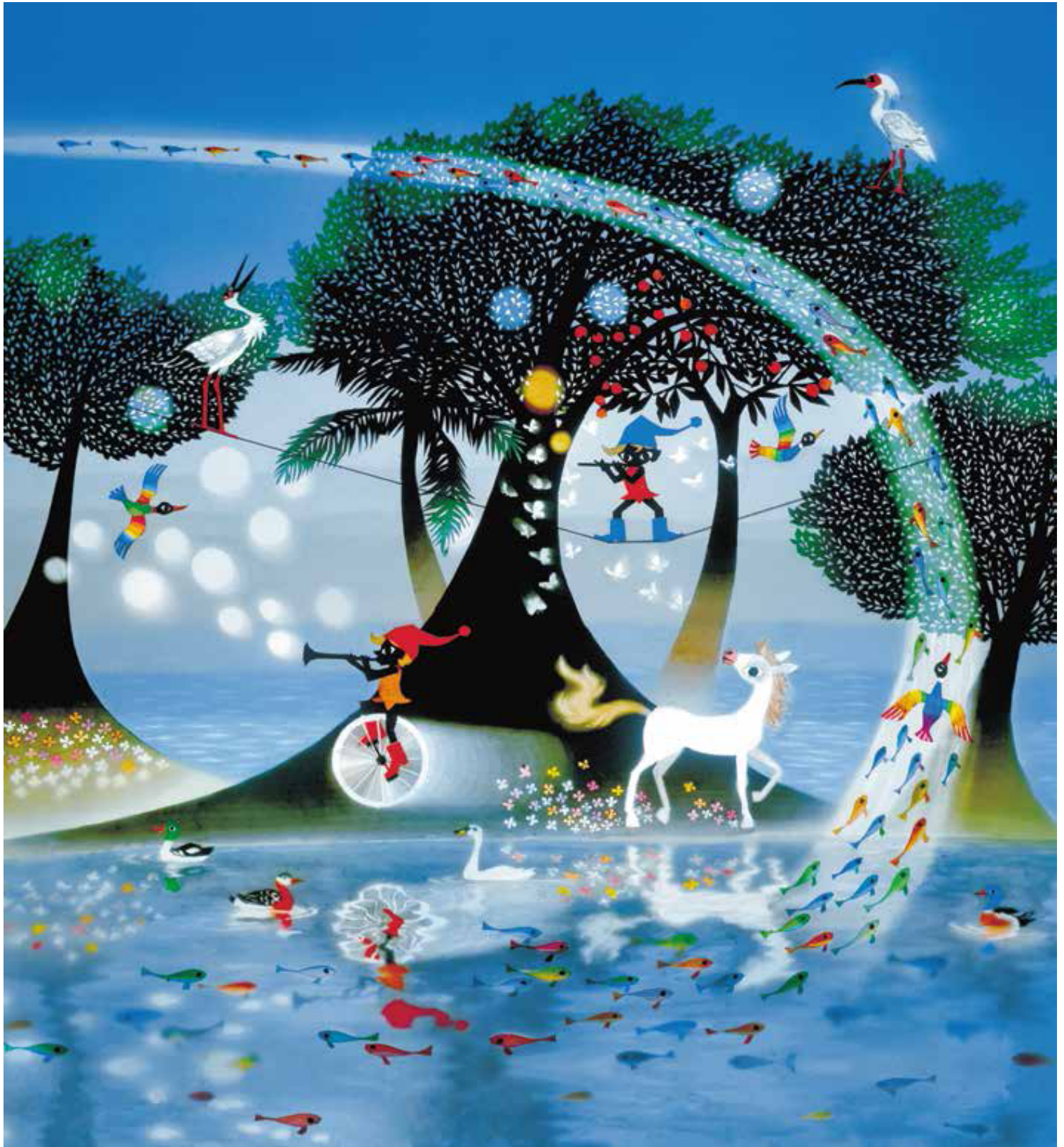


藤城清治 光のメルヘン展



『生きるよこび』©Seiji Fujishiro/Hori Pro 1995

2017. 4月8日 **土** - 6月4日 **日**

開館時間／午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)

休館日／月曜日(ただし5月1日、5月29日は開館)

観覧料／一般 1,400円 大学・高校生 800円 中学生以下無料

※有料20名以上は団体料金で2割引 ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳提示)
※SLばんえつクーポン、新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券持参で2割引

主催：藤城清治展新潟展実行委員会、新潟市新津美術館、新潟日报社、UX新潟テレビ21

後援：朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ぼかぼかラジオ

協力：藤城清治事務所、一般財団法人 藤城清治美術館那須高原、HORIPRO 特別協賛： 明電舎

●前売券 一般 1,200円 大学・高校生 600円

●前売券販売期間 4月7日(金)まで

●前売券取扱所

セブン-イレブン、新潟伊勢丹、トップトラベル新潟(Dekky401内)、文信堂CoCoLo万代(新潟駅地下)、文信堂長岡店(長岡駅CoCoLo内)、インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、新潟県立近代美術館・新潟県立万代島美術館の各ミュージアムショップ、新潟市職員生活協同組合、新潟市美術館、新潟市新津美術館 ※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。



新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
花と遺跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)
TEL.0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

藤城清治
光の
メルヘン展

当日観覧料100円引



『夕陽の中の愛の奇跡』©Seiji Fujishiro/Hori Pro 2004



『こびとの帽子』©Seiji Fujishiro/Hori Pro 1981



『愛のカクテル』©Seiji Fujishiro/Hori Pro 2004



『ケロヨンのドライブ』©Seiji Fujishiro/Hori Pro 2014



『幸せのねこ』©Seiji Fujishiro/Hori Pro 2005

藤城清治 SEIJI FUJISHIRO

1924年4月17日東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。在学中より影絵劇創作活動を開始し、卒業後、人形と影絵の劇団ジュネ・パントル(後の木馬座)を結成。影絵劇では「銀河鉄道の夜」をはじめとした名作を生み出した。雑誌「暮らしの手帖」などへの連載、絵本や画集の出版のほか、自主提供したテレビ番組「木馬座アワー」で登場したキャラクター「ケロヨン」は爆発的な人気を博す。全国で開く影絵展は、人々に感動を与え続けている。2013年栃木県那須高原に常設の藤城清治美術館が開館。紫綬褒章、勲四等旭日小綬章、宮沢賢治賞ほか多くの賞を受けるなど、唯一無二の芸術世界は高く評価されている。2015年、講談社から「藤城清治の旅する影絵 日本」を出版。2016年、女子パウロ会から「アッシジの聖フランシスコ」を、講談社から「プーちゃん」を出版。



撮影 沢渡 朔

日本を代表する影絵作家、藤城清治氏の独自の芸術世界を紹介する展覧会を開催します。この展覧会では、世界でも類を見ない影絵の手法により、ファンタジーや童話の世界を描き出してきた藤城氏の作品を、影絵の劇場をイメージして工夫を凝らした展示構成により、物語性豊かにご紹介します。藤城氏は90歳を超えた今なお、ますます意欲的な創作活動を続けておられます。少女や動物、こびとなどがにぎやかに躍動する画面には、生きとし生けるものすべてへの愛があふれています。生きる喜びに彩られた光と影の総合芸術をご覧ください。

関連イベント

藤城清治サイン会 4月8日(土)・5月4日(木)・6月3日(土)
※詳細はホームページをご確認ください。

新津美術館のやさしいサービス(ご利用は無料)

◎あいてマnde〜!

月曜日でも開館します!
5月1日・5月29日

◎こどもタイム

美術館内に音楽が流れるので
お話ししながら鑑賞できます

第1・第3木・日曜日
(4/16・20、5/4・7・18・21、6/1・4)
午前10:00~午後1:00

◎託児サービス(無料)

鑑賞中またはイベント参加中に
専門スタッフがお子様をお預かりします。

対 象:生後6か月~就学前のお子様

申込方法:各締切日までに電話
(0250-25-1300)でお申込み下さい。

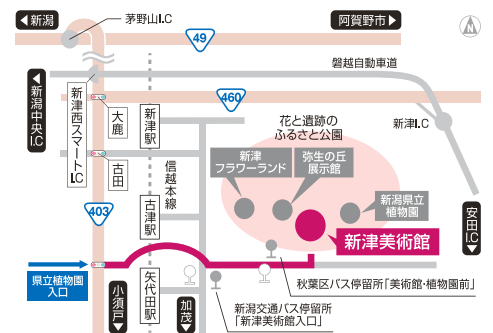
◎鑑賞のための託児サービス

第2・第4木・土曜日
(4/8・13・22・27、5/11・13・25・27)
午前10:00~12:00

申込締切:先着順 利用の3日前まで

交通のご案内

- ・JR古津駅から徒歩約25分。
 - ・JR新津駅からタクシー約15分 / JR矢代田駅からタクシー約5分。
 - ・新潟駅方面から国道49号を經由し「茅野山」から国道403号を三条・加茂方面に進み、「県立植物園入口」交差点で左折し道なりに約3分。
 - ・磐越自動車道新津ICより約20分 / 新津西スマートICより約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りではできません)。
 - ・JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行き」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。
 - ・もしくは新潟交通バス「矢代田經由白根・湯東行き」に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。
- ※バスは本数が限られておりますので、事前にお調べ下さい。



新津美術館の次回展覧会 | 会期/6月17日(土)~8月27日(日)
生誕80年 松本零士の世界展 銀河鉄道999、宇宙戦艦ヤマト...

新潟市美術館で開催中の展覧会 | 会期/3月18日(土)~5月21日(日)
原安三郎コレクション 広重ビビッド 広重・北斎・国芳、至高の初摺